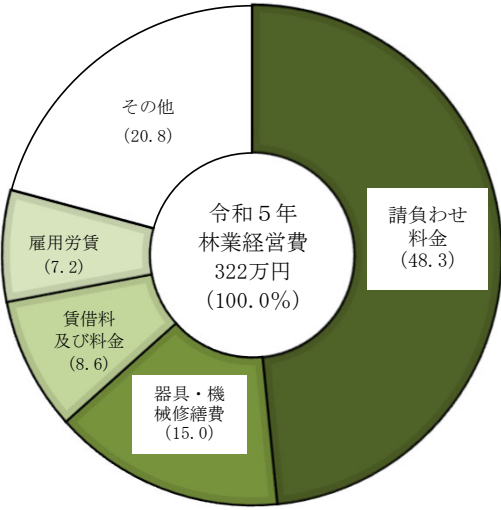


図 1 個人経営体の林業経営費の構成割合（全国）



注：構成割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、同じ。）。

1 個人経営体

1 経営体当たり林業粗収益は466万 5 千円で、平成30年調査結果（以下「前回調査」という。）と比べ23.4%増加した。

一方、林業経営費は322万円で、前回調査と比べ17.4%増加した。

この結果、林業所得は144万 5 千円となり、前回調査と比べ39.2%増加した。

また、林業経営費に占める主要費目の構成割合は、請負わせ料金が48.3%と最も多く、次いで器具・機械修繕費15.0%、賃借料及び料金8.6%、雇用労賃7.2%の順となっている。

表 1 個人経営体の経営収支等（全国・1 経営体当たり）

区 分	単位	令和 5 年		平成30年	増減率 (%)
			構成割合		
保有山林面積	a	7,543	—	6,435	17.2
林業粗収益	千円	4,665	100.0	3,780	23.4
素材生産	〃	2,280	48.9	2,144	6.3
立木販売	〃	180	3.9	207	△ 13.0
その他	〃	2,205	47.3	1,429	54.3
うち造林補助金	〃	1,345	28.8	648	107.6
林業経営費	千円	3,220	100.0	2,742	17.4
うち請負わせ料金	〃	1,556	48.3	1,065	46.1
器具・機械修繕費	〃	483	15.0	465	3.9
賃借料及び料金	〃	277	8.6	185	49.7
雇用労賃	〃	233	7.2	306	△ 23.9
林業所得	千円	1,445	—	1,038	39.2

2 会社経営体

1 経営体当たり林業事業売上高は1億2,819万5千円で、前回調査と比べ5.8%増加した。

一方、林業事業営業費用は1億2,541万円で、前回調査と比べ1.6%減少した。

この結果、林業事業営業利益は278万5千円となった（前回調査は637万2千円の損失）。

また、林業事業営業費用に占める主要費目の構成割合は、売上原価のうち賃金が22.4%と最も多く、次いで減価償却費9.4%、賃借料6.8%、機械修繕費6.8%、光熱・動力費5.6%の順となっている。

図2 会社経営体の林業事業営業費用の構成割合（全国）

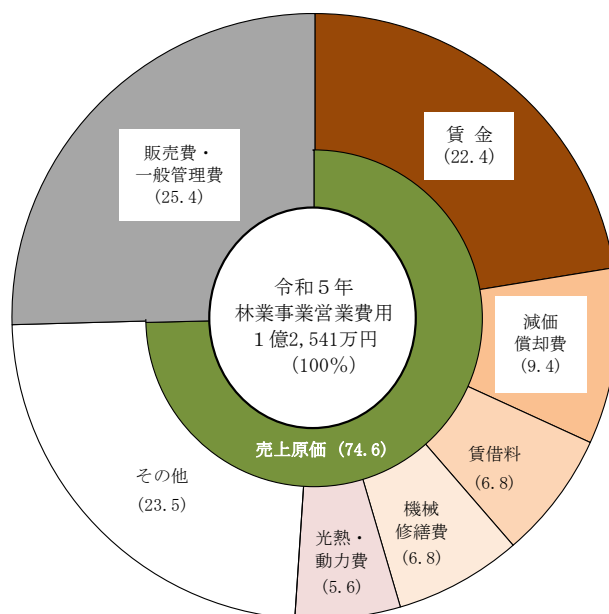


表2 会社経営体の経営収支等（全国・1経営体当たり）

区 分	単位	令和5年	構成割合	平成30年	増減率 (%)
請負面積（植林及び保育）	a	6,890	—	5,073	35.8
素材生産量	m ³	10,798	—	10,858	△ 0.6
従事者数	人	11.13	—	11.12	0.1
林業事業営業利益	千円	2,785	—	△ 6,372	nc
林業事業売上高	千円	128,195	100.0	121,130	5.8
うち素材生産収入（請負除く）	〃	55,835	43.6	41,099	35.9
請負収入	〃	69,218	54.0	79,826	△ 13.3
林業事業営業費用	千円	125,410	100.0	127,502	△ 1.6
売上原価	〃	93,618	74.6	98,133	△ 4.6
うち賃金	〃	28,133	22.4	33,345	△ 15.6
減価償却費	〃	11,830	9.4	13,127	△ 9.9
賃借料	〃	8,575	6.8	4,733	81.2
機械修繕費	〃	8,529	6.8	5,879	45.1
光熱・動力費	〃	7,043	5.6	6,288	12.0
販売費・一般管理費	〃	31,792	25.4	29,369	8.3
林業事業外営業利益	千円	9,393	—	9,071	3.5
林業事業外売上高	〃	52,101	—	71,317	△ 26.9
林業事業外営業費用	〃	42,708	—	62,246	△ 31.4
営業利益	千円	12,178	—	2,699	351.2
営業外収益（補助金含む）	千円	7,559	—	5,497	37.5
営業外費用	〃	1,694	—	1,169	44.9
経常利益	千円	18,043	—	7,027	156.8